

ランナーエピソード

～被災地へ、そして被災地から～

第6回神戸マラソンでは、当選されました皆さまからの『神戸マラソンにかける意気込みやエピソード』を募集しました。
そこで被災地へのメッセージ、また被災地からのメッセージを多数いただきましたのでご紹介します。

熊本県 高口 義幸 さん

Stand by 神戸～神戸を走る私から被災地（東日本または熊本）へ～

熊本地震の震源地から約2kmの自宅で被災しました。

マラソンのラスト2kmはあんなに遠く感じるのに、震源地はなんて近いことか。

でも妻と二人でケガをすることもなく暮らしていけることに感謝。

神戸をはじめ全国の皆様から熊本への応援を全身に感じながら、神戸マラソンのスタートラインにつくことができます。

そして一昨年はきつかったラスト2kmを今年は笑顔で走ります。

感謝、感謝。

東京都 P.N. 海綿大仙 さん

Stand by 神戸～神戸を走る私から被災地（東日本または熊本）へ～

神戸と熊本と全日本も一緒に頑張ろう！

台湾はいつでも日本のそばにいるよ。

Go Go JAPAN!!!

東京都 行場 竹彦 さん

Stand by 神戸～神戸を走る私から被災地（東日本または熊本）へ～

宮城県南三陸町に住む祖父母は、東日本大震災では幸い無事だったが、家がなくなった。

まだ大変なことも多いだろうが、私がマラソンの大会でいい結果を出すといつも喜んでくれる。

神戸マラソンでも5位以内に入り、良い報告をして勇気づけたいと思う。

兵庫県 P.N. たいっちゃん さん

42.195kmのチャレンジ宣言！

現在、加古川市在住です。

故郷熊本県八代市からこちらに就職し30年。

妻の実家近くに2002年ワールドカップサッカー開催年に自宅を構え、現在にいたります。

今年、1月2日に愛犬こつぶちゃんが他界し、故郷熊本県は震災で、マイナスばかりでした。

過去、2012年第1回京都マラソンに当選したものの練習パターンが悪く、怪我を誘発してしまいスタートラインに参加出来なかった悔しい苦い経験があります。

今年は、年男です。

4年前のリベンジ、愛犬、故郷熊本県復興支援に少しでも貢献したく、全力プレーで、完走しますバーい。

ガマ出せくまモンたーい。

熊本県 吉田 憲司 さん

支援を頂いた皆様へ贈る「ありがとう」

被災地熊本から出場します。阪神大震災の被災地神戸からもたくさんの支援を頂きました。

今回は「感謝」の気持ちを込めて走りたいと思います。

もう一つ、実は息子が神戸市内のパン屋でパン職人の修行中です。

頑張っている息子にも、近くで走ることで「エール」を送りたいと思います。

また、熊本県出身の神戸大学の女子学生が1年間休学して、甚大な被害を受けたふるさとでボランティア活動をしていることを6月に神戸を訪れて知りました。

そのことを地元の「熊日新聞」へ投稿し掲載して頂きました。

その女子大生のようにはいきませんが、少しでも熊本と神戸を結ぶ架け橋になれたらと思います。

頑張るけん！

佐賀県 中村 哲夫 さん

Stand by 神戸～神戸を走る私から被災地（東日本または熊本）へ～

阪神淡路大震災では、兄の住宅にヒビが入り数年後に建て替えをせざるをえませんでした。その後、神戸マラソンを走り神戸の復旧した姿を実感しながら走りました。

2011年の東日本大震災では、津波のすごさがCGを見るようで悲惨な被害を目にしました。今年には熊本地震により、娘の嫁ぎ先が震災被害に遭い、1歳の孫がいるため、他の人に迷惑をかけられないとのことで車中泊を強いられるなど、自然災害の莫大な力を感じられずにはられません。私たちが神戸マラソンを走れることを、大会関係者、ボランティアの皆様感謝しながら、被災された方々の早期の復旧と平穏を祈りたいと思います。

奈良県 西川 好彦 さん

Stand by 神戸～神戸を走る私から被災地（東日本または熊本）へ～

阪神淡路大震災の際は、甲南大学3回生でした。東日本大震災の際は、大学時代に目にしたボランティアの姿を思い出し、陸前高田市への派遣を希望し活動をさせて頂きました。3回目の神戸マラソンは、復興への足取りを踏みしめながら走りたいです。

熊本県 入江 孝典 さん

Stand by 神戸～神戸を走る私から被災地（東日本または熊本）へ～

私は、熊本在住です。4.16の被災者の一人です。大変な数ヶ月でした。みんな本当に苦しい中、「がまだし」ました。これも全国からの温かい支援があったからです。でも熊本復興は、まだまだこれからです。私も、このマラソンを通じて、自分への勇気と熊本に元気と笑顔を与えたくて走ることを決意しました。「がまだせ熊本」

兵庫県 P.N. まいどおおきに さん

Stand by 神戸～神戸を走る私から被災地（東日本または熊本）へ～

東日本や熊本で復興に向け頑張っている皆様に、42.195kmを走りながらエールを送り、少しでも早く、神戸のように震災から立ち直っていただきたいと思います。

熊本県 久保田 英之 さん

Stand by 神戸～神戸を走る私から被災地（東日本または熊本）へ～

20年前、被災した神戸の街を歩きました。その4年後、中学校教諭として教壇に立ち、街の復興に向けて歩む方々の努力や苦悩、願いなどを熊本の子どもたちに伝えました。今回の熊本地震で身近な方々がきつい思いをされています。復興に努めた街を、自分の足で力いっぱい踏みしめながら完走し、その体験を今がんばっている方々に伝えていきたいです！！

熊本県 今村 保奈美 さん

Stand by 神戸～神戸を走る私から被災地（東日本または熊本）へ～

熊本地震を経て、さらに心身ともに強くありたいと思い、神戸マラソンに応募し当選。前震、本震の時は仕事だったので不安でいっぱいの中で働いてました。私の住んでる地域は、他の地域に比べると被害は少ない方ですが、震度5以上を5回経験。1人暮らしには辛い時期でしたが、友人や仕事仲間との励まし合いで乗り越えることができたことを嬉しく思います。フルを走りきり、実家（阿蘇）の両親と応援してくれる友人・仕事仲間へ報告したいと思います。

大阪府 P.N. 大阪のおばちゃんさん

Stand by 神戸～神戸を走る私から被災地（東日本または熊本）へ～

第4回、5回と大阪のおばちゃんに変身して走りましてん。

後半に必死に頑張っている人には、飴ちゃんにエールを込めて配りながら走りました。

そんなおばちゃんも、去年は21キロでふくらはぎに肉離れを起こしてしまって、後半は必至のパッチやったけどね。

実はおばちゃん、21年前に熊本の阿蘇山にある、あの大学に通ってましてん。

そう、阪神・淡路大震災の年に熊本に移り住みましてん。

だから、熊本の地震は第二の故郷の災害やねん。母校が、後輩が、被災したんよ！

おばちゃん、今年も運よくまた神戸を走れるねん。

きっと、今年の手袋のひまわりは熊本と大分に向けて一緒に咲かしたいって気持ちがマラソンの神様に届いたんやね。

大好きな阪神と熊本両方を背負って、今年も大阪のおばちゃんに変身して走りますね。

出会えた人には飴ちゃんあげるな～。

兵庫県 P.N. ゆうさん

Stand by 神戸～神戸を走る私から被災地（東日本または熊本）へ～

神戸マラソン。

当選ありがとうございます。

実は今年で5回目の出場になります。

各地のマラソン大会に参加していますが、やはりこれだけ当選確率が高いのも、神戸を愛する気持ちが人一倍強い想いが届いていると思っています。

震災から21年経ちますが、神戸の街を走るたびに、1995年1月17日の夜の、電気が復旧していない真っ暗な街並みのことや、須磨～長田にかけての建物が倒壊した風景が昨日のこのように蘇ります。

私は須磨の天神橋を登り切ったところから、西側へ見える真っすぐな2号線に続く色とりどりのランナーに埋め尽くされた光景が、大参事のあの日と対照的に印象深く、生きることへの感謝の気持ちが沸いてきます。

「走ることが出来ること＝今の自分が生きている証」という感謝の気持ちを感じています。

各地の様々な状況で被災された方々へ、街が復興されても心の復興というのはたやすいことではありませんが、街並みの変化を感じながら、力あるときに走ったり歩いたり休んだりすることで時間と共に前に進むことが出来ると思います。

今年も感謝の気持ちを感じながら、走ります。

熊本県 匿名希望さん

復興のために、支援をしてくれた皆様へ贈る「ありがとう」

熊本市在住です。

4月14日、16日の地震で被災者となりました。（倒壊の恐れのため、住んでたアパートに帰れず。職場での寝泊まりを1ヶ月ほど続けました。）

地震直後から、全国から熊本に向けて災害支援の方々が入られ、県外ナンバーの車を見るたびに、感謝の気持ちでいっぱいでした。

SNSを通じて、全国の皆様が熊本、大分の復興を支援していることも強く感じ、大変ありがたく思いました。そんな時、神戸マラソンのエントリー情報を目にし、『感謝と友情』のテーマに共感でき、エントリーさせてもらいました。

神戸マラソンは初エントリーで当選したので。

支援して下さった皆様に感謝の気持ちを持って、神戸の街並みを走らせていただきたいと思います。

熊本県 P.N. はつえもんさん

全国の皆さんへ贈る「ありがとう」

私は熊本で被災しましたが、災害ボランティア活動の中で大量の支援物資に驚くとともに、全国各地から来てくださったボランティアの方々と出会い、温かい気持ちになりました。

今回は走りながら、全国の皆さんにありがとうを伝えたいです。

兵庫県 松井一矢さん

Stand by 神戸～神戸を走る私から被災地（東日本または熊本）へ～

私は第2回神戸マラソンで年代別19歳以下の部で初優勝をさせて頂いてから、今回で5年連続5回目の出場になります。

地元神戸で育った私にとって、とても思い出深い大会です。

また昨年から、東日本大震災の復興支援の為に立ち上がった吉本興業のランニングチーム「吉本ナショナル Dreams」のユニフォームを着用して走らせて頂き、震災を乗り越えた神戸人から東北復興支援を祈願しました。ただ完走するだけでなく、想いを届ける為に、必ず結果を出す！と心に誓い、そして2時間39分51秒の自己ベストで完走することが出来ました。

当時の福岡国際マラソンの参加基準を、たったの9秒だけですが、なんとかクリアすることができました。会場に同席をした宮川大助花子師匠も、大喜びをしてくださいました。

ただ年代別順位24歳以下の部で第2位。

今年こそは優勝奪還して、諦めず、頑張り続ければ、夢は叶う！復興もできる！！そう信じて、今年も吉本ナショナル Dreams のユニフォームを着用して走らせて頂きます。

熱い想いをユニフォームに乗せて。

必ず結果を出します。

兵庫県 P.N. たかしさん

Stand by 神戸～神戸を走る私から被災地（東日本または熊本）へ～

NO KOBE

NO LIFE

一致団結。

兵庫県 山口加奈子さん

Stand by 神戸～神戸を走る私から被災地（東日本または熊本）へ～

私は今年で2年連続神戸マラソンを走るチャンスを頂きました。

今年の5月に熊本へボランティアに行ってから、自分の中で、人生一度きりだと言う熱い気持ちが芽生えました。熊本へ元気を届けに行った筈が、ボランティアに行った自分達の方が沢山の笑顔と元気を頂いて、大変な状況でも感謝しながら「ありがとう」と言える熊本の方々に出会えて、本当にお金では買えない大切な経験をさせてもらいました。

被災地でのボランティアを経験して、私が出来る事は、周りの人達にもっともっと元気と感動を与えられる人間になりたいと強く思いました。

だから、私は今年もチャレンジします！そして、これからも、神戸が元気に！熊本が元気に！なるお手伝いをしていきたいと思えます。

熊本県 坂本ひろ子さん

支援して下さった皆さんへ贈る「ありがとう」

ぐらぐら、ガタガタ4月14日9時26分突然地震が襲ってきた。

私たちの住んでいる熊本市北区は比較的被害が少なかった。

安心して眠りについてた2日後、以前よりも増してもものすごい激しい揺れで、

私と2歳年上の主人と中学3年生の娘は飛び起き、恐ろしくて身震いをしているとあっという間に停電し、揺れがおさまるのを待って、着の身着のまま3階の我が家から車の中に逃げ込んだのでした。

私たち家族は、21年前の阪神淡路大震災を当時住んでいた伊丹市の社宅で被災し、食器棚が倒れたわずかな隙間から産まれて1カ月半の長男を毛布に包んで大切に抱きかかえて車の中に逃げ込んだ経験があったのです。なんで3回も大きな地震に遭うの？嘘でしょう！

何度自問自答しても現実是不変なのです。

断水も2週間ほど続く中、全国から支援の車が来て本当にうれしかったです。中でも神戸市水道局の給水車や、神戸市の救急車、伊丹にある自衛隊第三師団の車を見かけた時は、阪神淡路大震災の時のあの惨状を乗り越えて支援して下さることのありがたさを感じました。

兵庫県だけでなく、全国の皆さんのあたたかい気持ちに希望と元気をもらうことができました。

今回主人と私は神戸マラソンに別々に申し込んだのに、二人とも当選したので、支援して下さった皆さんに感謝しながら完走目指して二人でゴールしたいです。

長男は今21歳となり、愛知県で元気に働いてくれています。

香川県 増野 稔さん

Stand by 神戸～神戸を走る私から被災地（東日本または熊本）へ～

東日本大震災の派遣職員として宮城県山元町に2年間在職し、その時に全国、世界中の方に、支援の御礼と復興が進み元気なことを走って全国に伝える目的で発足した、やまもと RC。

今は、派遣を終え全国に帰った仲間と、やまもと RC のイチゴ色のシャツを着て、全国のマラソン大会を走ること、感謝の気持ちを伝え、走り続けています。

大阪府 正圓 光男さん

Stand by 神戸～神戸を走る私から被災地（東日本または熊本）へ～

震災から見事に立ち直られ、この様な立派なマラソン大会を開催された神戸市民の方々に最大の敬意を払いたい。

また神戸マラソンに申し込み抽選に外れた友人の代表として、且つ震災時に訪れ悲惨な光景を思い出しながら、復興した被災地を思い切り駆け抜きたい。

今回は久しぶりに必ず4時間を切って走りたい。

大阪府 赤田 怜士さん

Stand by 神戸～神戸を走る私から被災地（東日本または熊本）へ～

1995年、小学校2年生の時に西宮で震災に遭ってから21年。

神戸の街がこれほどの素晴らしい街に復興するとは想像もつきませんでした。

当時、たくさんの人からいただいたご支援に対する感謝の気持ちを忘れずに、必ず走破したいと思います。

また、今現在復興に取り組んでおられる地域の方々に、復興した神戸が目標となるような大会をお見せすることができれば幸せです。

熊本県 P.N. マサ0226さん

42.195kmのチャレンジ宣言！

熊本からの2回目の参加です。

今回の応募時期は、ちょうど熊本地震直後…被災のショックで正直「走る」なんて気持ちにはしばらく出来ませんでした。自らを奮起させるために何か「目標」が必要だと思い直しました。

そして当選…被災地域枠を設けていただいたとのこと、本当にありがとうございます。

11月の本番に向けて、2回目のサブ4達成に向けて練習を開始したところです。

熊本の街の復旧復興同様、焦らずじっくりと調整していきます。

熊本県 富永 英子さん

42.195kmのチャレンジ宣言！

全く走った事がない私が2008年の夏から走り出し、半年でフルマラソンを完走。

タイムも少しずつ縮まり走ることが楽しくってしょうがない時間を過ごせました。

5時間を切る事を目標にしたのですが5時間を切る事ができず、だんだんモチベーションも下がり、走る事が楽しくなく、大会ではやっと完走という状態が3年ぐらい続いています。

一昨年、去年と神戸マラソンに主人の応援で参加しランナーが「応援ありがとう」と笑顔でハイタッチしてくれ、ランナーも応援も心から楽しんでいるなど感じました。

私も神戸を走りたい。楽しく走りたい。

と、エントリーしました。

神戸を楽しみます。

熊本県 坂本 淳一さん

熊本地震支援者へ贈る「ありがとう」

21年前、伊丹で阪神淡路大震災を被災。

今年4月に熊本地震で被災。

なぜ2回目とも思いました。

家の被害は少ないものの、家族の心のケアや、友人知人や会社の同僚のサポートは、大変。

そんな状況で、神戸や伊丹他、他県の方からの支援が有難かったです。

神戸の街を感謝を込めて走り抜きたいです。

京都府 P.N.KEI160さん

Stand by 神戸～神戸を走る私から被災地（東日本または熊本）へ～

学生時代を過ごした思い出の地、熊本。

先日、熊本市内を訪問したが、まだまだ地震からの復興始めといった感じで、被災の影響が色濃く残っている。自分に何が出来るか？経済的な支援ももちろんだが、同じく地震にあいながらも見事に復興した神戸の地を精一杯駆け抜け、熊本もきっと神戸のように、元気や笑顔を取り戻せる！

というメッセージを伝えるため、全力を出し尽くします！

兵庫県 P.N.キャサリンさん

Stand by 神戸～神戸を走る私から被災地（東日本または熊本）へ～

生後3か月の娘の授乳を終えた時、ドンという音。

5時46分阪神淡路大震災。

懐中電灯、水、非常食等、何の備えもない被災した私たちに全国から温かい気持ちのこもった救援物資が。特に紙オムツは「神オムツ」と思えるくらい有り難かったです。

娘も就活するまでに成長いたしました。

第1回神戸マラソンに出走した際、復興した街を走りながら、きれいに整備されている所ほど被害が大きかった所、家が倒壊したり、火災が起きて沢山の命が失われた場所なんだなと思いながら走り、元気にマラソンを走らせてもらえることに感謝しながらの42キロでした。

あの朝の絶望の淵から立ち直った神戸のランナーとして、熊本・東日本の被災者の皆さんに、前を向いて進みましょうという思いを込めて走ります。

私の元気が少しでも届きますようにと祈りながら走ります。

兵庫県 P.N.あつこさん

Stand by 神戸～神戸を走る私から被災地（東日本または熊本）へ～

まさに生まれ育った神戸の道を走る日がくるなんて。

何度、走っても特別な大会です。

復興するまでには相当な時間が掛かりました。

こんなに綺麗になった神戸の街を東北、熊本の方にも知っていただければ。

希望の光の1つになれば。

と思います。

宮城県 高石 淳さん

Stand by 神戸～神戸を走る私から被災地（東日本または熊本）へ～

震災から復興を遂げた神戸

震災から復興半ばの東北

震災から復興が始まったばかりの熊本

東北も熊本も神戸のように復興できるという希望を持って、

そして東日本大震災のときに応援をいただいた神戸、熊本への感謝を込めて。

熊本への応援のため神戸路を走ります。

茨城県 P.N.MEKランナーさん

Stand by 神戸～神戸を走る私から被災地（東日本または熊本）へ～

私にとって人生初フルである神戸マラソン。

また出場させて頂ける事に本当に感謝の想いで一杯です。

神戸マラソンは、阪神・淡路大震災から復興された街並みを、多数の沿道者から温かいご声援を頂けるのが1番の魅力だと感じます。

当時私は中学1年生で、あの頃の悲痛な状況は20年以上たった今でも忘れられません。

また私は被害は小さいのですが、東日本大震災の被害者でもあります。

2つの大きな震災を経験した者同士もランナーと声援者としてお互いが共有し合い、まさに大会のテーマである「感謝と友情」そのものだと感じます。

私自身震災の被災者の1人として、震災で苦しんだ方々に少しでも元気を与える走りをしたいと思います。

熊本の街の復旧復興同様、焦らずじっくりと調整していきます。

兵庫県 松村 美佳さん

Stand by 神戸～神戸を走る私から被災地（東日本または熊本）へ～

私は宮城県東松島市に住む彼とお付き合いしています。

彼の住む東松島市は東日本大震災による津波で、死者 1,000 人以上を出し、市内全住宅の 3 分の 2 を超える約 11,000 棟が全半壊しました。

その町で私たちはボランティアを通して出会いました。

震災から 5 年、復興は少しずつですが着実にすすんでいる様子でした。

何より町の人たちは皆前を向いて、毎日自分たちの町のためにと頑張っていました。

しかし、一方で町の本来あるべき姿、元のようにとは、まだまだ程遠いとも感じられるのが実際の現状でもありました。

今回私がこのマラソンにエントリーした理由は、かつて阪神淡路大震災で大きな被害にあった神戸の町も長い年月を経て、震災以前、いやそれ以上の活気を取り戻している姿を、彼にみてもらいたいと思ったからです。

彼の住む町も神戸のように必ず復興する日が来ると希望をもってもらいたい。

初めてのフルマラソンで景色をみる余裕はないのかもしれませんが、いま彼と 2 人で神戸の町を走り抜けることには大きな意味があると思っています。

生まれ育った神戸の町が東北の希望となりますよう、

2 人で完走目指して頑張ります！

熊本県 奥村 智宏さん

Stand by 神戸～神戸を走る私から被災地（東日本または熊本）へ～

神戸マラソンは、昨年に続いて 2 回目。

今回は自分の住んでいる熊本での震災後のマラソン。

神戸、東日本、そしてまさかの熊本。

テレビでの出来事が身近となった。

前震、本震と 2 回の大きな地震、予測のできないほどの地震（私自身は 2 回目は海外にいました。）が起き、夜の恐怖がしばらく続いた。

私も含め家も大丈夫だったが車中泊を余儀なくされ、全国からの支援物資、ボランティア、震災派遣と初めて全国の方のありがたみを知った。

まだ揺れは続いており震度 1 以上の地震は 2000 回を超えた。

まだ収まってはいないが、今回のマラソンは、神戸そして全国の皆さんに「ありがとう」の気持ちを込めて走りたいと思っています。

そしてタイムではなく「完走」を目標に。

兵庫県 P.N. フロマージュノンさん

Stand by 神戸～神戸を走る私から被災地（東日本または熊本）へ～

1995 年の阪神・淡路大震災。

生まれ育った大好きな神戸の街が、まるで映画のワンシーンのように崩壊した姿に言葉がなかった。

あれから 21 年…復興への強い想い、多くの支援の輪が、澄みきった青空のような綺麗な「神戸」に虹をかけました。

復興には 10 年はかかります。

だからこそ、チャリティー募金をしながら 10 年はフルマラソンを走り続けたい。

みんなにありがとうと元気を…。

熊本県 幾波 和也さん

Stand by 神戸～神戸を走る私から被災地（東日本または熊本）へ～

熊本に来て 8 年目の今年 4 月、2 度にわたる震度 7 の地震に見舞われました。

街は日常を取り戻してきたとは言え、寝床に入ると地震が来るのではと不安に苛まれる毎日です。

55 歳からマラソンを始めた兵庫県出身の私は、神戸マラソンに応募するたびに落選。

しかし、今回当選し某かの縁を感じています。

全国の皆様からいただいた物資、ボランティアの方々には感謝の気持ちでいっぱいです。

練習に励み、気力、体力を充実させ、兵庫県出身の私が熊本復興を祈念する者として完走を果たしたいと思っています。

熊本県 P.N. こばやんさん

妻そして生まれ故郷神戸、人生の終焉地熊本へ贈る「ありがとう」

私は神戸市で生まれ、23才で大阪に転勤で移り変わるまで神戸で育ちました。

阪神淡路大震災の際には自身も尼崎で被災しましたが、両親の無事を確認するため8時間かけて神戸市中央区まで歩いて行きました。

その後いろんな経験、紆余曲折もありましたが、今の妻と出会い結婚しました。

妻の出身が熊本県天草で、それまで全く九州には縁も興味もなかった私ですが、熊本城マラソンに参加し熊本の人々の温かさに触れ、妻の田舎で人の優しさに触れる度、熊本が好きになり熊本に移り住むことを決心しました。

今年の3月に天草（実家）で同居生活がスタートしましたが、すぐに母親の死去、そして熊本大震災も経験しました。妻は私よりもつらく悲しいはずですが、必死に仕事をしながら家事に子育てと歯を食いしばり頑張ってくれています。

これから先いろんなことがあるかもしれませんが、私も感謝の気持ちを忘れず一生懸命家族を守り抜くため頑張っていこうと今を生きています。

この度神戸マラソンに当選し、故郷に帰ることができます。フルマラソン完走することで感謝の気持ちを表すとともに今後の糧にしたいと思っています。

生まれ故郷を目に焼き付け、パワーをいただきたいと思い、精一杯走りぬこうと決意しています。

熊本県 江藤 武さん

神戸の人・街に「ありがとう」

4月14日と16日に起きた熊本地震。

全く予想していなかっただけに、甚大な被害を受けた地元の熊本。全国から多くの方々による様々な支援に、「ありがとう」の一言では言い尽くせぬほどに感謝しています。

まだまだ復興・復旧が始まったばかりで、元の生活に戻るまではかなりの時間が必要です。同じ大地震を経験した神戸の人達だからこそ、分かってもらえると思います。

数多くの支援と応援に「ありがとう」、そしてまだまだ忘れられたくないし、風化させないという気持ちを伝えながら走りたいと思います。

熊本を代表してというのは大袈裟ですが、神戸の地を自分の足で走りながら、直接感謝の気持ちを伝える機会を与えてくれたことに感謝します。

本当に「ありがとう」。

福岡県 若林 哲平さん

Stand by 神戸～神戸を走る私から被災地（東日本または熊本）へ～

今回がフルマラソン5回目の挑戦になります。

その中でも一番記憶に残っているのは、熊本城マラソン2016です。福岡から一人で熊本に行き、準備や前日の夜は不安でいっぱいでした。

しかし、レースが始まると途絶えることのない現地の方々からの声援や、楽しませようとする工夫などがあふれていて、熊本の方々の優しさを感じました。

聞こえていたかわかりませんが、声援に対してありがとうと返しながら走りました。

ゴールした時には、赤の他人のこんな僕を応援してくれた方々への感謝で涙がこぼれ、止まりませんでした。その数か月後に熊本で地震が起こりました。テレビで被害状況を見たときには、マラソンでの沿道の方々の笑顔が頭の中で一気に駆け巡り、僕は泣いていました。

今回神戸を、大好きな熊本への感謝を込めて走りたいと思います。

山口県 P.N. ひまゆうさん

Stand by 神戸～神戸を走る私から被災地（東日本または熊本）へ～

私の地元は熊本です。

4月の熊本地震では、実家や身内や友人も被害に遭いました。

地震後は全国各地からたくさんの支援や激励をいただき、改めて日本人の心の豊かさや団結力を感じました。今の神戸の素敵な街並みは、大地震後復興した街の象徴だと思います。

熊本もいつか復興を遂げます。

そのときが1日も早く来るよう願いを込め、神戸マラソンを走ります！